

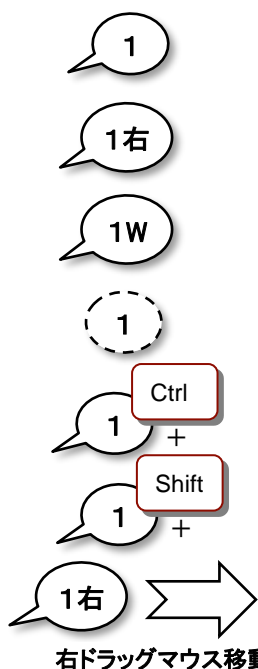
## **～電気部材変換編～**

# 目次

DXF図面のオブジェクトをCADEWA部材に変換してみましょう

1. 開く
2. 名前を付けて保存
3. 部材変換
4. 上書き保存

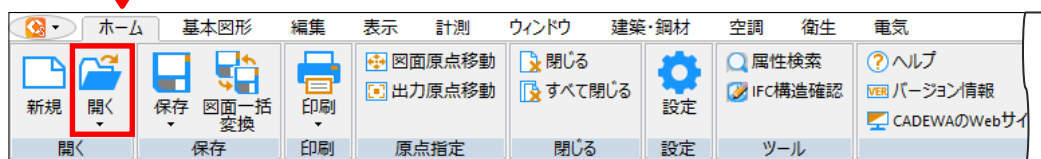
## マウスの使い方

- 
- 1
- 1右
- 1W
- 1
- 1 + Ctrl
- 1 + Shift
- 1右 →
- 右ドラッグマウス移動
- …指示位置をクリック（左クリック）します。
  - …指示位置をマウス右ボタンでクリックします。
  - …指示位置をダブルクリック（左2回クリック）します。
  - …マウスを表示位置に近づけます。
  - …[ Ctrl ]キーを押しながらクリック（左クリック）します。
  - …[ Shift ]キーを押しながらクリック（左クリック）します。
  - …マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。

# 1. 図面を開きましょう

## Operation

開く



使用する図面は  
Smart\_20\_E06\_電気部材変換  
開始.dwg

① 図面を選択します

② 開く

③ 「三次元オブジェクトを読み込む」、  
「ブロックをグループに分解して読み込む」をOFFにします

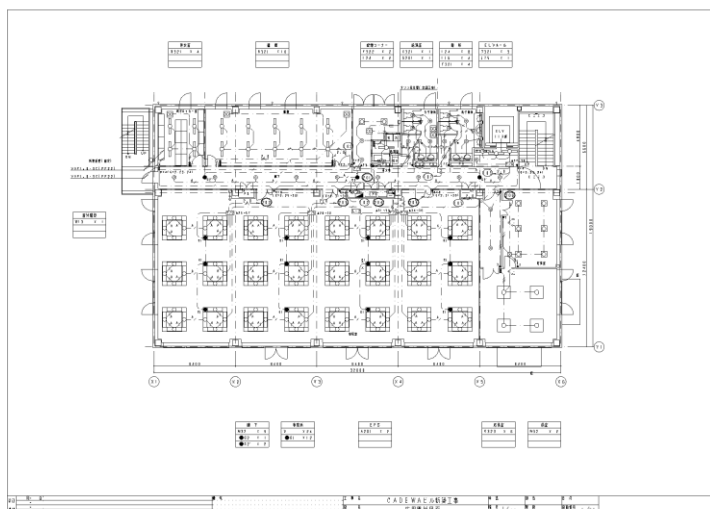
④ 原点の位置を「図面原点を維持（無変換）」に設定します

⑤ 「レイヤーをフォルダーにまとめる」をONにします

⑥ 縮尺と用紙を変更します

\*縮尺: 1/100  
\*用紙: A2横

⑦ OK

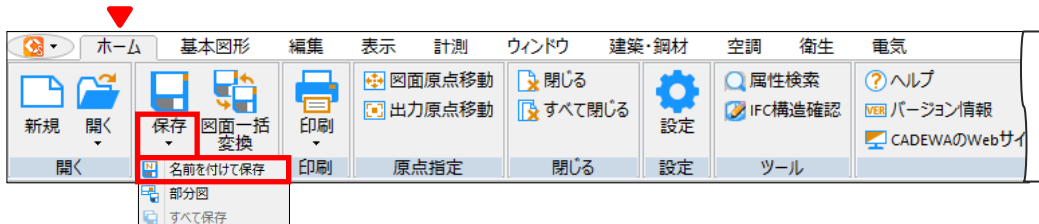


# 2.

## 図面を保存しましょう

### Operation

名前を付けて  
保存



#### ① ファイル名を入力します

\*Smart\_20\_E06\_電気部材変換開始.ZDW

#### ② 保存

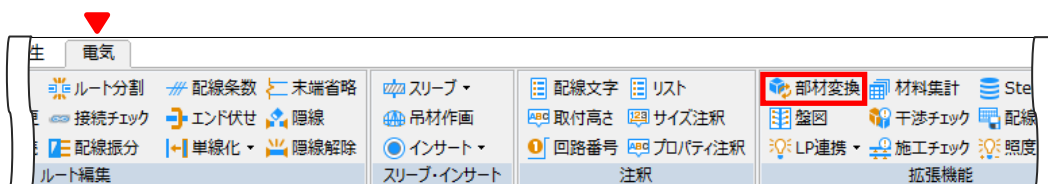


# 3.

## 汎用線を電気部材のオブジェクトへ変換しましょう

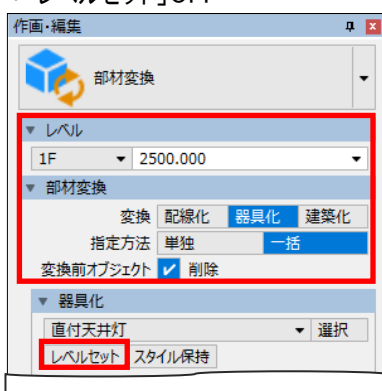
### Operation

### 部材変換



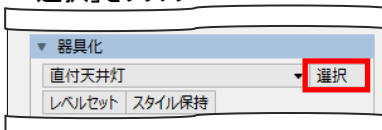
#### ① 器具の部材変換を設定します

- \*レベル: 2500
- \*変換: 器具化
- \*指定方法: 一括
- \*変換前オブジェクト: 「削除」ON
- \*「レベルセット」OFF



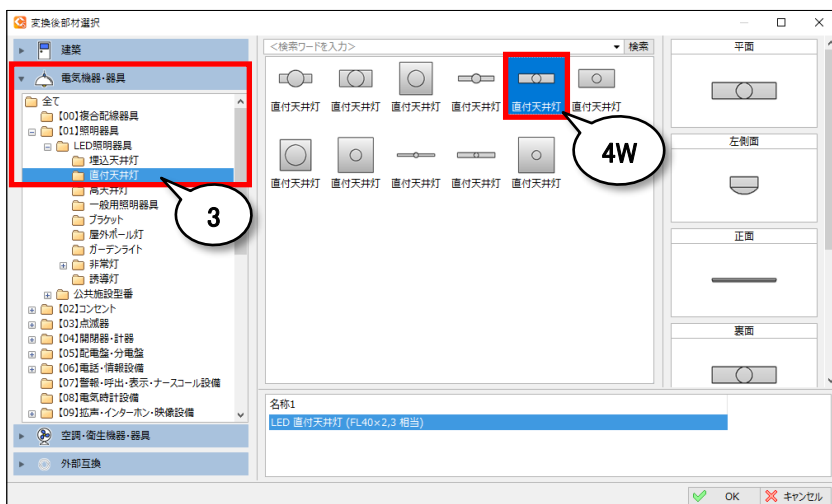
#### ② 変換後の器具を設定します

- \*「選択」をクリック



#### ③ 器具を選択します

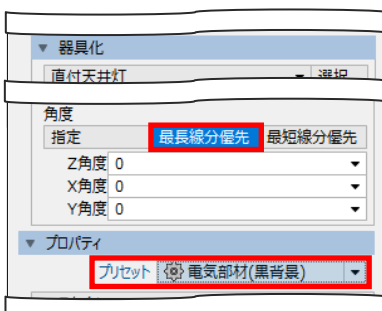
- \*「電気機器・器具」-「[01]照明器具」-「LED照明器具」-「直付天井灯」



#### ④ W「直付天井灯」を選択します

#### ⑤ 変換後の配置角度やスタイル等を設定します

- \*角度: 「最長線分優先」ON
- \*プリセット: 電気部材(黒背景)



① レイヤーを設定します  
\*「電気設備」-「機器・器具」-  
「電力設備」-「電灯設備」

② 選択方法を「四角」に変更します

③ 変換するオブジェクトを選択してください

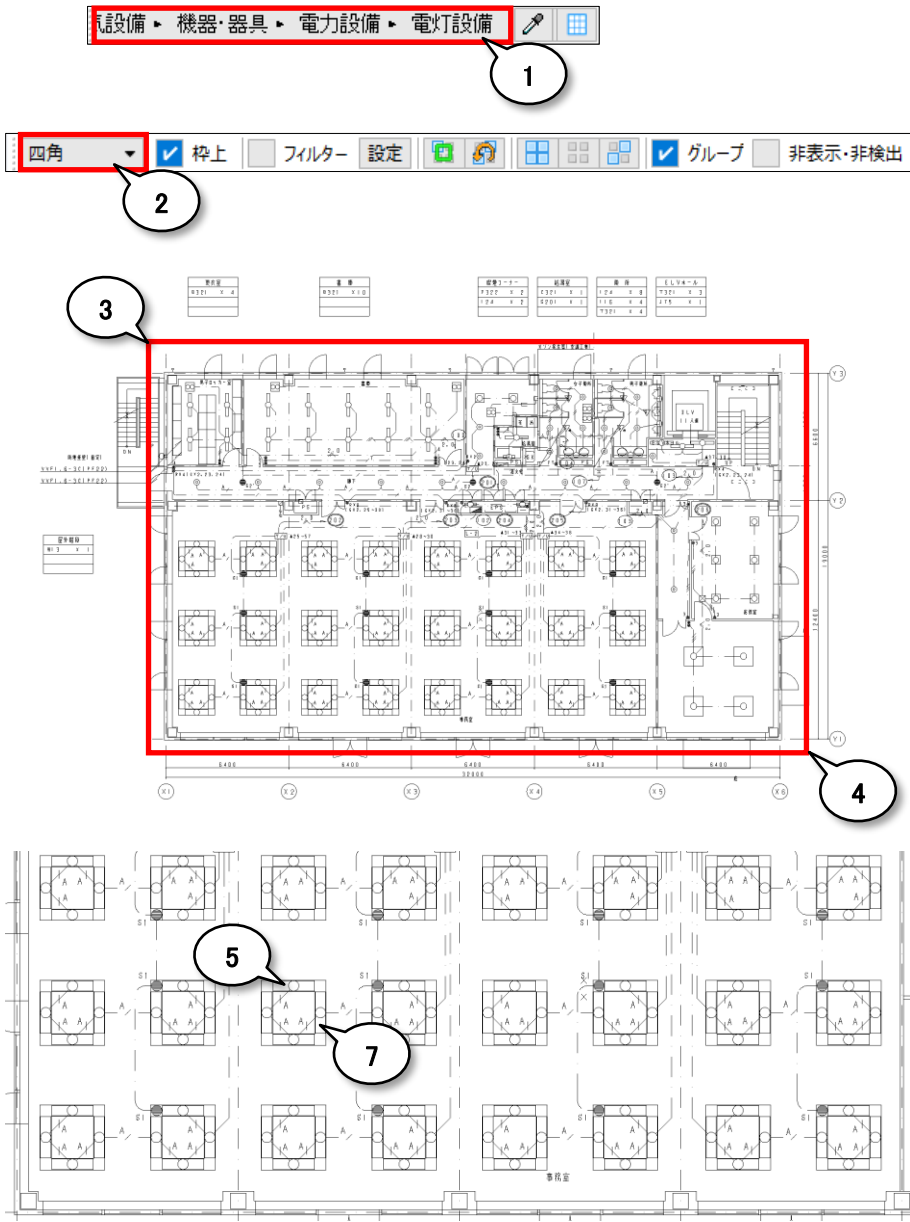
④ 範囲選択の終点を指示してください

⑤ グループを指示してください  
\*横向き器具を指示

⑥ 右 選択完了

⑦ グループを指示してください  
\*縦向き器具を指示

⑧ 右 選択完了



6右  
右ドラッグマウス移動

右ドラッグ移動により、  
選択を完了します。  
[ Enter ]キーまたは、  
[ OK ]ボタンクリックでも  
確定します。

8右  
右ドラッグマウス移動

右ドラッグ移動により、  
選択を完了します。  
[ Enter ]キーまたは、  
[ OK ]ボタンクリックでも  
確定します。





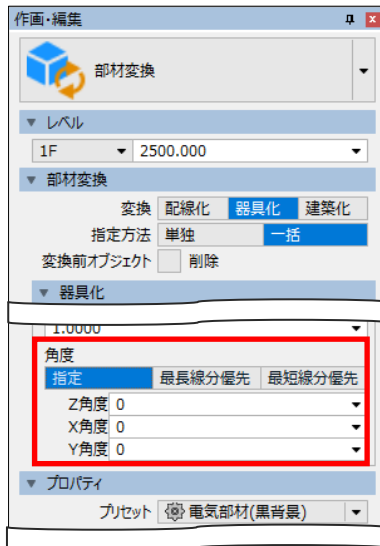
## 器具化について

- 変換対象

器具化(単独)の変換対象: 点、線、円、円弧、楕円、楕円弧、文字、ポリライン、スプライン、拡張オブジェクト  
器具化(一括)の変換対象: 円、ポリライン、スプライン、拡張オブジェクト  
(※器具化の対象となる拡張オブジェクトは、建築を除くCADEWA Smartで作画した機器器具や配線・配管・ダクトなどのルート部材、表、雲、3D図形、ブロックなどが該当します。)

「一括」で意図した変換ができない場合は「単独」での変換をお試しください。

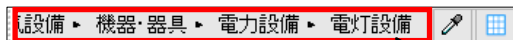
- 角度



「指定」ONの場合、Z角度、X角度、Y角度に入力した角度で配置します。  
「最長線分優先」ONの場合、変換対象要素の最長線分の角度を優先して配置します。  
「最短線分優先」ONの場合、変換対象要素の最短線分の角度を優先して配置します。

- 変換後レイヤー

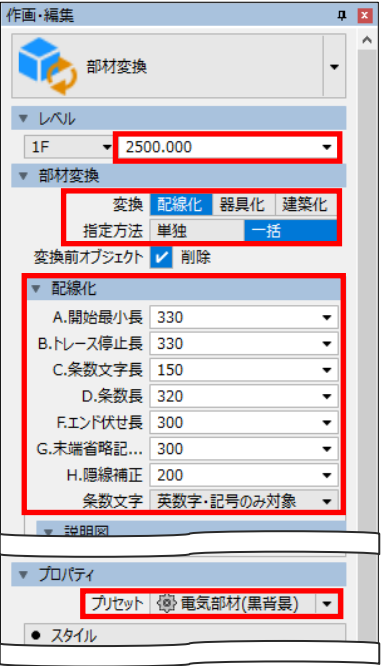
変換した器具はレイヤーパネルで指定した入力レイヤーへ作画します。  
変換する際は、入力レイヤーを指定してください。





① 配線の部材変換を設定します

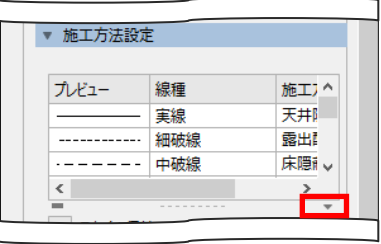
- \*レベル: 2500
- \*変換: 配線化
- \*指定方法: 一括
- \*A.開始最小長: 330
- \*B.トレース停止長: 330
- \*C.条数文字長: 150
- \*D.条数長: 320
- \*F.エンド伏せ長: 300
- \*G.末端省略記号長: 300
- \*H.隠線補正: 200
- \*条数文字: 英数字・記号のみ対象
- \*プリセット: 電気部材(黒背景)



1

② 施工方法設定を確認します

- \*右下「▼」をクリック



2

プレビュー	線種	施工方法
————	実線	天井隠蔽
-----	細破線	露出配線
.....	中破線	床隠蔽
-----	長破線	床隠蔽
CENTER2	天井ふところ内	天井ふところ内
CENTERX2	天井ふところ内	天井ふところ内
DASHDOT	天井ふところ内	天井ふところ内
DASHDOT2	天井ふところ内	天井ふところ内
DASHDOTX2	天井ふところ内	天井ふところ内

3

線種ごとに変換後の施工方法を  
設定します

③ 施工方法を設定します

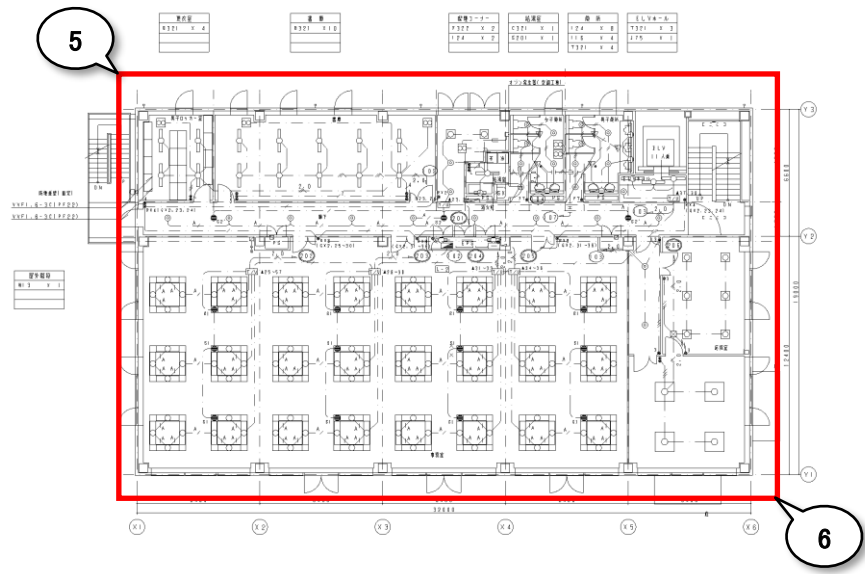
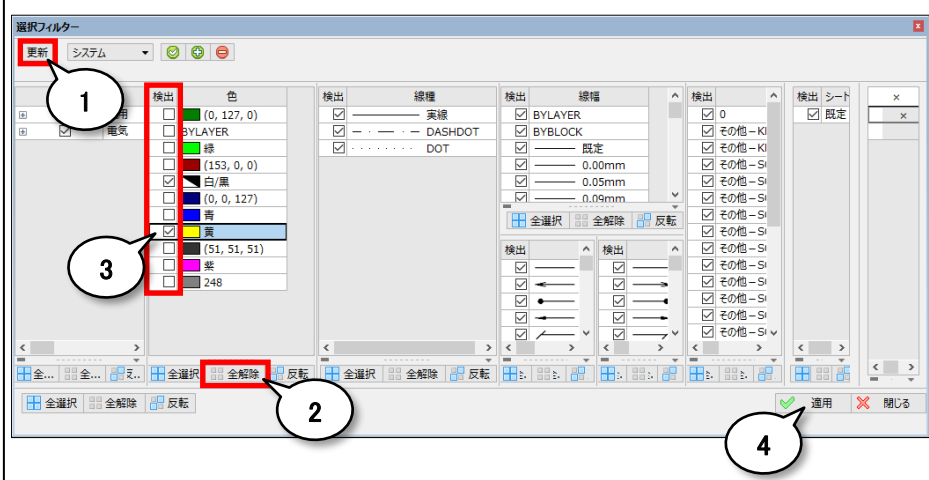
- \*実線: 天井隠蔽
- \*DASHDOT: 天井ふところ内

④ 「設定」ボタンをクリックします



4

- ① 選択フィルターを設定します  
\*「更新」ボタンをクリック
- ② 色設定の「全解除」ボタンをクリックします
- ③ 色検出を「白/黒」、「黄」のみONにします
- ④ 適用
- ⑤ 変換するオブジェクトを選択してください
- ⑥ 範囲選択の終点を指示してください
- ⑦ 右 選択完了
- ⑧ 選択フィルターをOFFにします



7右 → 右ドラッグ移動により、  
選択を完了します。  
[ Enter ]キーまたは、  
[ OK ]ボタンクリックでも  
確定します。





## 配線化について

- 変換対象

配線の変換対象: 線、円弧、楕円弧、ポリライン、スプライン  
配線条数の変換対象: 線、円弧、文字、ポリライン、スプライン  
省略記号の変換対象: 線、円弧  
エンド伏せの変換対象: 線、円弧、楕円弧

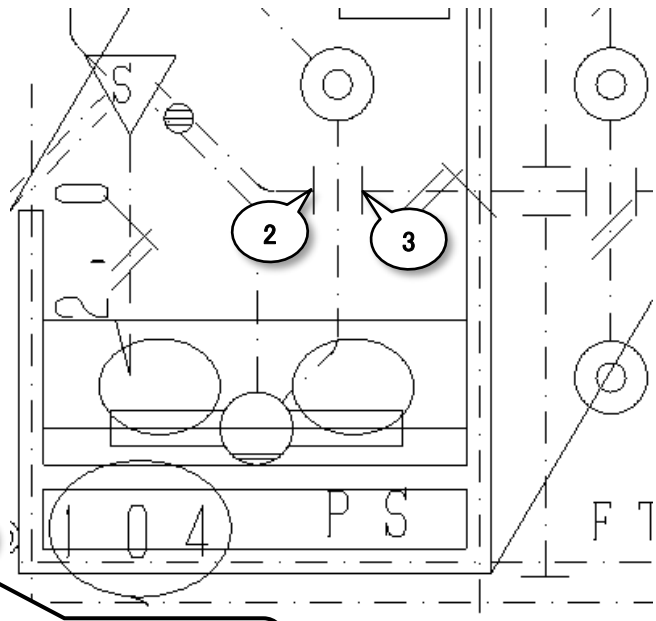
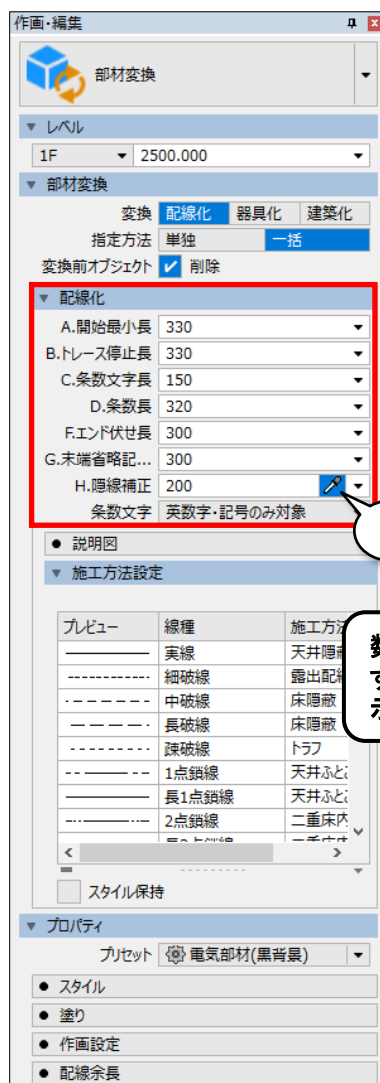
元図がDWGファイルの場合、ブロック要素は配線化対象になりません。  
「分解」コマンドで線や円弧に分解してから配線化を行ってください。

- 変換後レイヤー

配線化されたものは、変換元のオブジェクトと同じレイヤーに入ります。  
レイヤーを移動したい場合は、レイヤー分解で移動するか、プロパティのレイヤー情報を変更します。  
(レイヤー分解での移動方法は「図面互換編」を参照ください。)

- 「配線化」設定について

条数化する対象長さや隠線記号化する対象長さなど、配線化する際の各種対象長さを設定します。  
設定にはスポイトが使用できます。



数値入力欄にマウスを移動  
すると、スポイトマークが表  
示されます。



距離 200

距離 × 200

距離 y 0.17

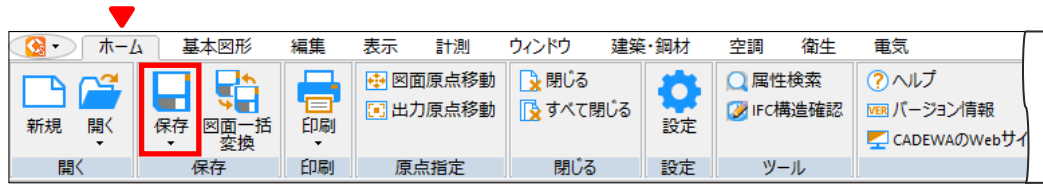
距離 z 0

# 4.

## 図面を上書き保存しましょう

### Operation

上書き保存



① OK

\*既存のファイルを確認

